

ドナウ の 四季

2020年 新春号

| | | |
|--------------------|-------|----|
| 首都圏直下大地震の社会経済的影響 | 盛田 常夫 | 1 |
| 太田&ブダペスト姉妹都市締結25周年 | 菊池 玲子 | 4 |
| A Family | 今熊 大輔 | 8 |
| ボールペンを発明したハンガリー人 | 木村 香織 | 9 |
| お知らせ 日本人学校教員募集 | | 11 |
| 出版記念会 | | 11 |

Heat Therapy in Oncology—Oncothermia
New Paradigm in Hyperthermia
Andras Szasz and Tsuneco Morita

腫瘍温熱療法—オンコサーミア

ハイパーサーミアのパラダイム転換—医術から医学へ

サース・アンドラーシュ / 盛田常夫 [著]



日本評論社

温熱治療のパラダイムを転換する

温熱治療を根本から見直し、
あるべき手法を示した著書。

曖昧な日常知を科学によって解明した画期的な著作。

オンコサーミア治療器は世界25カ国で利用。
ドイツでは百か所以上のクリニックで、
韓国の主要な大学病院に設置。

好評発売中。定価3200円+税。
大手書店、Amazonにて購入可。

第4章 腫瘍温熱療法

- 4.1 腫瘍温熱治療の基本概念
- 4.2 ハイパーサーミアの手法
- 4.3 熱の作用と併用効果
 - (1) 熱と血流
 - (2) ハイパーサーミアの併用効果
- 4.4 ハイパーサーミアの熱生成
 - (1) アンテナ放射
 - (2) 磁場(コイル)
 - (3) 容量性カップリング
 - (4) 伝導加熱
- 4.5 ハイパーサーミア治療が抱える問題

第5章 オンコサーミアの理論と方法

- 5.1 電場の利用
- 5.2 細胞燃焼
- 5.3 腫瘍治療における細胞加熱
- 5.4 ミクロスコピック加熱
- 5.5 集束化の原理
- 5.6 温度の役割
- 5.7 安全性
- 5.8 積算量(ドーズ)
- 5.9 臨床事例

第6章 自然療法としてのオンコサーミア

- 6.1 ホメオスタシスの復位
- 6.2 細胞の自然死の促進
- 6.3 細胞転移の阻止
- 6.4 転移がん細胞に作用

第1章 ハイパーサーミアの歴史と評価

- 1.1 ハイパーサーミアとは何か
- 1.2 ハイパーサーミアの曖昧さと課題
- 1.3 ハイパーサーミアの歴史的概観
- 1.4 腫瘍治療のハイパーサーミア

第2章 ハイパーサーミアの物理学

- 2.1 電磁気学の基礎概念
 - (1) 電磁気現象
 - (2) 電場と磁場
 - (3) キャパシタ
 - (4) 位相シフト
 - (5) インピーダンス
 - (6) 電磁波
- 2.2 バイオ電磁気学
 - (1) 電磁波スペクトル
 - (2) バイオインピーダンス
- 2.3 「非熱」効果
 - (1) 非温度依存 (NTD) 効果
 - (2) 電磁場におけるNTD効果
 - (3) 電磁気による目標選択
 - (4) 電磁気と生体システム

第3章 ハイパーサーミアの生理学

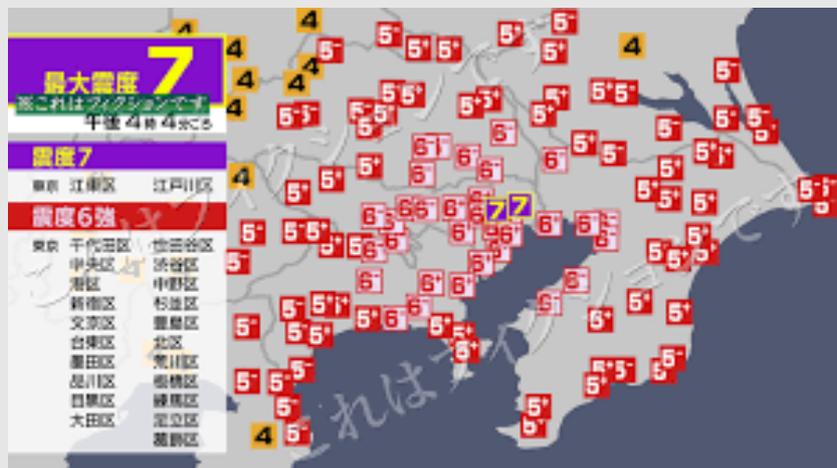
- 3.1 生体におけるエネルギー、熱、温度
- 3.2 生体における温度制御
- 3.3 生体の加熱と体温
- 3.4 加熱による温度の分布
- 3.5 全身加熱と局所加熱の本質的な差異
- 3.6 加熱と冷却: リスクとその回避
- 3.7 温度測定と熱積算量(ドーズ)

首都圏直下大地震の社会経済的影響

盛田 常夫



NHK は 12 月 2 日から週を通して、首都圏直下地震の被害を体感させる番組「パラレル東京」を放映し、都民のみならず国民の注意を喚起した。今後 30 年間に 70% の確率で起こるとされる首都圏直下地震にたいして、東京都のみならず、政府は万全の事前措置を講じることが必要である。



番組では、最悪の場合、東京大空襲に匹敵する惨劇が起こることを想定している。まさに終戦直後に似た状況が再現されるという強いメッセージが送られている。これだけ高い確率で起きることが予想されている自然災害にたいして、人々が無策でいることは許されない。番組では物理的かつ人的な被害が詳細に伝えられている。すさまじい被害である。それを現実のものにしない準備が必要である。

他方、この直下地震が及ぼす社会経済的な影響について、番組は触れていない。あくまで物理的人的被害に焦点を当てた番組である。しかし、われわれは人的被害を最小限にする準備のみならず、地震被害が社会経済的にどのような影響や帰結をもたらすかについても、十分に検討を加え準備する必要がある。なぜなら、被害の規模によって、日本の社会経済的機能の中核的な部分が失われるからである。

首都に甚大な被害が生じれば、主要な経済機能、とくに金融機能が失われる。政府は社会的混乱を避けるために、銀行預金の一時的封鎖あるいは、預金引出しの一時的制限を導入せざるを得ない。被害の深刻さにも依るが、預金封鎖あるいは引出し制限の導入は、物価の高騰と円為替の暴落を惹き起こすことは確実である。とくに膨大な政府累積債務を抱える日本には、危機的な地震被害を契機に、円売りが浴びせられ、為替の下落は輸入物資の高騰を惹き起こす。人々の生活物資の高騰のみならず、復興のための輸入物資が高騰し、それがハイパーインフレを惹き起こすことが予想される。この時になって、巨額の累積債務という「体制負債」が社会に重くのしかかってくる。



このような事態に陥る可能性がきわめて高いのは、政府が抱える累積債務があまりに巨額だからである。巨額の債務を抱えたままでは、日本は復興への態勢をとることができない。日本は終戦からの再出発を余儀なくされる。ハイパーインフレによって、国民の資産は限りなく無に帰す。一般庶民が失う資産より、金持ちが失う資産の方がはるかに大きい、それにしてもこつこつ貯めてきた資産は無に帰す。他方、GDPの200%を超える政府債務は限りなくゼロになり、経済再建のためのリセットが行われる。まさに第二の敗戦である。

政治家や政党は当座の選挙で議席を増やす政策に汲々するのではなく、日本を襲う災害の被害を最小限に抑える政策に力を注ぐべきである。そのためにも、当座の景気対策でしか

ないアベノミクス政策を止め、国家債務の削減に向けた財政健全化政策を行うことが不可欠である。可能な限り国家債務の水準を下げ、自然災害にたいして余裕をもって対処できる体力をつける必要がある。

ところが、与党も野党も、右も左も、国債発行すれば、国家資金は無尽蔵にあると考えているようだ。本当に財政問題を深刻に考えているなら、政治家がホテルや料亭で会食するはずがないし、公金を私的に流用することもないはずである。しかし、安倍政権にはそのような堅実な姿勢は見られない。もともと安倍政権や安倍晋三自身がそのような日本社会の将来を憂う知性を持ち合わせていないから、それを期待することもできない。しかし、日本社会の平均知性が安倍晋三のレベルにある限り、日本の将来は明るくない。

他方、野党はどうか。安倍晋三を凌駕する知性を発揮しているとは到底思われぬ。アベノミクスの旗振り役で、アベノヨイショの代表である高橋洋一を講師に招き、ありがたくご意見拝聴している山本太郎主宰の「消費減税研究会」の知的水準は、アベノヨイショの御仁とさほど大差ない。ポピュリズムという点で、アベノヨイショと五十歩百歩だからである。

アベノヨイショの御仁たちは自らの見解に責任を持つことはない。首都圏直下地震によって日本の社会経済機能が失われ、日本売りが始まっても、それがアベノミクスによる無責任な経済政策の一つの帰結であることを認めようとはしないだろう。まさに原発事故と同様に、与党とその政治家、御用学者は過去の政策の誤りを認めず、「天災」に責任を負わせるだろう。

庶民は財産を失い、終戦の混乱に乗じた一部の政商や悪徳業者が再び富を蓄積する。戦前は軍国主義に騙され、今はアベノミクスに騙され、庶民は富を失う。人々が賢くならない限り、歴史は繰り返えされる。

大田&ブダペスト姉妹都市締結 25 周年

アシスタントディレクター日本代表 菊地玲子

2019 年 11 月 15 日は私の小さな記念日でした。

この度ご縁あってハンガリー・リスト記念館ホールにて韓日 3 カ国の国際交流演奏会を開催致しました。この記念すべき日をチーフディレクター韓国代表イ・サン Chol 氏に代わり、アシスタントディレクター日本代表菊地玲子が代筆させていただきます。

振り返りますと私達には長いストーリーがありますが、そもそもの出会いは 2017 年の事でした。姉妹都市である札幌市と韓国大田広域市が初めて札幌にて国際交流演奏会を行ったのが始まりでした。お互いに手探りの中始まった国際交流事業でありましたが、数日ながら"音楽"という共通の言葉で言語以上に会話した様な時間であった様に思います。

嬉しい事にその後も交流は途切れる事なく続き、友情は深まり 2018 年にはソリストとして大田音楽祭へ招かれ私自身が大田広域市へ初めて訪れる事となりました。彼らと音楽をし、彼らの街を歩き、彼らと同じ食事を食べ、彼らの美しい言語を聞きまねする日々には彼らの心に触れ一歩また一歩と彼らとの距離が近づいていった気がします。

そんなある時、大田広域市とブダペストが姉妹都市であるという事を知り驚きと共に大変幸せな瞬間に巡り合いました。

偶然か必然かはわかりませんが、2015 年にハンガリーを離れ日本で過ごす日々の中であっても私の中で決して薄れる事のなかったハンガリーが、こうしてまた私のもとへ巡ってきてくれた事に感謝と大きな喜びを感じ、遂に 2019 年ハンガリーにて国際交流演奏会を開催する事に至ったわけなのです。

特に今年はブダペスト & 大田広域市姉妹都市 25 周年記念、ハンガリー & 韓国外交開設関係 30 周年記念、そしてハンガリー & 日本外交開設開設 150 周年の記念年が重なり合ったこの縁に何か運命を感じてしまうものでした。

しかしながら開催までの日々、様々な出来事がありました。それぞれの考え、価値観やスピード感は多種多様で、2 カ国に挟まれながらをする日々はまるでジェットコースターに乗っている様でした。更には言葉の壁ももちろんありましたし、最後には残念な事に予期せぬ日韓外交問題もありました。

芸術が政治に左右される事はないと、音楽がどんな事も解決すると信じていましたが、残念ながら全てがそうではなかったというのもまた事実でありました。

しかしその上でディレクターとして辿り着いた先にあったものは、このプロジェクトが共に創り上げるディレクターであり友である仲間への信頼と、まだ見ぬ未来への希望に私自身が大きく支えられていたという事でした。

日本人同士でさえ全てを理解するのは難しい事を、国の違う私達がそれぞれの価値観でひとつの事を成し遂げようとするのは大変な作業であると思います。しかし異なる事はさほど問題ではなく、私達に大切な事は異なるその『先』に、お互いを理解してみたい、理解してみようとする試みではないかと思うのです。

その想いを胸に私達は最後まで諦める事なく進む事にしました。

11月に入り3カ国の初顔合わせの後、怒涛の短期集中リハーサルがスタートしました。短い時間の中、異なる世代の異なる音楽家達が様々に変化していく光景を沢山目にしました。

初日にお辞儀をしていた私達がハグをして、無口だった私達がお互いの言葉を話したり、お互いに意見を披露したり、未来の再会を約束したり—そんな光景を目にする度、ディレクターとしてこの国際交流の価値を改めて確信したものでした。演奏会当日にはお昼すぎから行われていた最終リハーサルからこぼれる音色に誘われ、どこからからかまた一人また一人ホールへ耳を傾けに来て下さり、演奏会は聴ける？これはアジアの曲かい？などと沢山の方々に声をかけて頂きました。

本番では第一部にはブダベスト&大田姉妹都市記念、第二部には3カ国交流記念プログラムを披露致しました。



韓国の伝統的な韓服を着用したイ代表がハンガリー語の通訳を介し、美しい韓国語で感謝の言葉を述べコンサートは幕開けしました。プログラムには、韓国伝統楽器であるピリという笛のパフォーマンスも行なわれ、韓国の伝統曲を魅力溢れる音色で披露致しました。観客の皆さまが前のめりになって聴き入って下さった光景を大変に嬉しく思います。きっとリストも目をまん丸にして聴いていたに違いありません！

更にはハンガリー、日本の若い才能ある演奏家たちによる瑞々しいパフォーマンス、また最後にはハンガリー国立オーケストラより Molnár Zsuzsanna さんと Kökényessy Zoltán さんの友情賛助出演により全ての演奏家達がインスパイアされ、圧巻のパフォーマンスにより沢山の拍手を頂いた最後でした。

個人的な事になりますが、私のハンガリーの友が私の韓国の友になり、私の韓国の友が私のハンガリーの友になり、私の日本の友が私の韓国の友になり、私のハンガリーの友が私の日本の友になり、友たちが最後に皆ひとつに手を繋いでくれた事に大変幸せなディレクターであったと思います。

このプロジェクト成功裏には沢山の方々の想いと大きな助けがありました。

親愛なるリスト音楽院学長 Vigh Andrea 氏、ワイナーレオカトリック音楽専門高等学校校長 Mészáros Lászlóné Ica 氏及びワイナー学校全ての親愛なる元同僚たち、チェロ指導をして下さいました Kardosné Kemény Krisztina 氏、サポート下さいました Propart Hungary Bt.代表桑名一恵氏、韓国代表イ・サン Chol 代表及び韓国大田広域市国際交流センター長イ・ミスク代表、チュ・ギョウオン氏、そして心を寄せて下さいました全ての方々に厚く御礼申し上げます。辿り着きましたこのゴールが、また新たな始まりとしてすでに繋がりに結びついていると信じています。



最後になりましたがイ・サンチョル代表のメッセージにて感謝の挨拶とさせていただきます。
음악은 세계 공통 언어라고 생각합니다. 대전 & 부다페스트 자매도시 결연 25 주년을 맞이하여 음악으로 화합의 장을 만들었습니다. 앞으로 더 많은 교류가 계속되기를 희망합니다. 그리고 앞으로 우리 모두가 음악으로 소통하면서 더 가까운 친구가 될 것이라고 기대해봅니다. 다음을 기약하며...

2019.11.26

에듀스아트 대표 이상철



音楽は世界共通言語だと思います。大田&ブダペスト姉妹都市締結 25 周年を迎えて音楽で友好の場を作りました。これからもっと多くの交流が続くことを希望いたします。そして私たち共が音楽で疎通しながら、より親しい友達になれることを期待しております。次回を期して...

2019.11.26

エデュースアート代表 イ・サンチョル

Köszönöm szépen, 감사합니다, ありがとう。

A Family

ブダペスト日本人学校 今熊大輔

豊かな自然に囲まれた、歴史を感じさせる街並み。美しいブダペストの地に建つ現地校の一角を借りた小さな校舎。それがブダペスト日本人学校だ。三年前の春、この日本人学校のホールで私たち平成二十九年度派遣教員は、温かい歓迎を受けた。子どもたちの明るい笑顔と、その周りで優しく見守る教職員。その明るさに「素敵な学校へ来たな。」と感動がこみ上げてきたのが、まるで昨日のこのようだ。

やがて子どもたちとの学校生活が始まり、右も左も分からないまま過ごす、日本人学校での忙しい日々。授業や行事を何とかこなしていくうちに、この学校の素晴らしさに気づいていった。

授業では、それぞれが自分の考えを発言し皆で話し合う。例えば算数の授業では、問題が提示され、それに対するそれぞれの考え方を伝え合い、比べ合う。教師側からの一方的な授業ではなく、子どもたちが主体となった、この熱く楽しい雰囲気は、少人数クラスの本校ならではの。

毎日の清掃活動。小学部から中学部の学年が混じった縦割り班が、2週間ごとに変わる担当の場所を掃除する。上級生をリーダーとして、協力しながら清掃する子どもたちは、その場所をきれいにしようという意欲にあふれており、短時間で効率的に教室や手洗い場をピカピカにしていく。

さらに、運動会、ドナウ祭、もちつきカルタ大会などの学校行事。本番に向けた準備や練習の中で、子どもたちは、どうすればそれらをより良いものにできるかを考え、話し合う。限られた時間と場所を最大限に生かし、素晴らしいものを作り上げていく。

こういった有機的な学校生活の中で、子どもたちはおどろくほど大きく成長していく。初めは自分を出せずにいた子も、みな在意欲にあふれる環境の中で、本来の持ち味を発揮しはじめ、やがてリーダーとしてクラスや学校を引っ張っていくようになる。こういった見事な成長ぶりを見るのは、教師としてとても嬉しいことだ。

ブダペスト日本人学校は、ひとつの家族だと思う。日本から離れた異国で暮らすということは、本当に大変なことだ。言葉も違えば文化も違う。ファミレス、コンビニ、カラオケ…日本では当たり前前の場所もここにはない。しかし、だからこそ子どもたちは助け合い、その結びつきは次第に強くなっていく。

ところが、寂しいことに、この家族は、常にメンバーが変わり続ける。やっと仲良くなることができた仲間たちと一緒にいられるのは、ほんのひと時。仲間が旅立つ日がすぐにやってくる。子どもたちはそれを知っているからこそ、一日一日を大切に過ごすのかもしれない。

この素敵な家族と過ごすことができた三年間は、私の宝物だ。共に家族として頑張ってきた、キラキラの子どもたち。いつも応援してくださった保護者や関係機関の方々。そして長くこの学校を支えてこられた現地の教職員をはじめ、先輩や同僚たち。すべての人々に心から感謝したいと思う。

Köszönöm Szépen!

ボールペンを発明したハンガリー人

ビーロー・ラーズロー (Bíró László József, 1899-1985 年)

木村 香織



現在では世界中どこでも目にすることができるボールペン。文字を書くことが少なくなった現代人にとって毎日使用するものとは言えなくなったかもしれないが、それでもどこの家のペン立てにも必ず1本はあるであろう。このボールペンを発明、実用化し世に送り出したのは、ブダペスト出身のハンガリー系ユダヤ人、ビーロー・ラーズローであった（歴史上、初めてボールペンのアイデアを出し特許を取得したのは、アメリカ人発明家のジョン・ラウドである。1888年のことであった。しかし、彼の構想したボールペンは実用化には至らず、商業的価値を失い、彼の特許は失効している）。

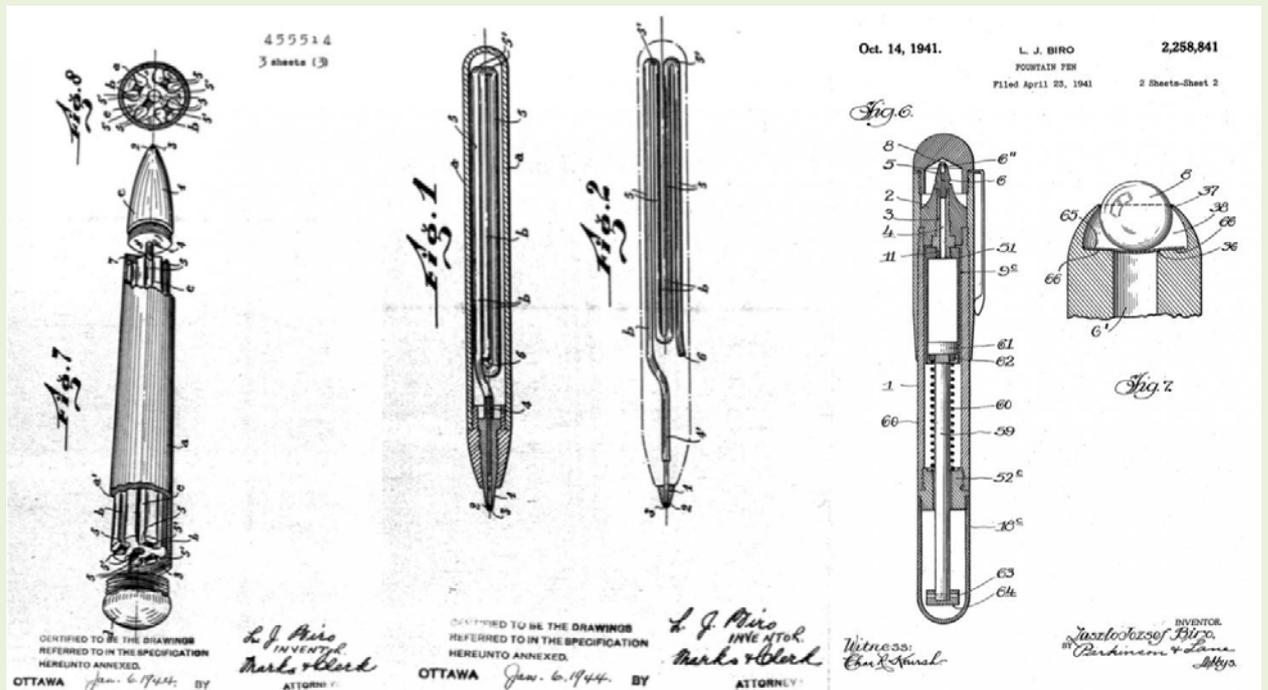
ビーロー・ラーズローは1899年9月29日、オーストリア＝ハンガリー帝国のブダペストで生を受けた。父親はシュワイガー・モーゼシュ・マーチャーシュ (Schweiger Mózes Mátyás)、母親はウルマン・ヤンカ (Ullmann Janka) であった。一家は当時のユダヤ人家庭の多くがそうしていたように、苗字をハンガリー風のビーロー (Bíró) に変更した。1905年のことであった。

ラーズローは初め医学の道を志すが、最終的にはそちらには行かず、ジャーナリストとなり、ブダペストの新聞社で働いた。また、その一方では画家としても作品を残すなど、多彩な人物であったようである。

ラーズローは新聞社に勤めている時、新聞の印刷に使うインクが滲まず乾きが早いことに気づき、これを仕事道具である万年筆に使えないかと考えた。しかし、万年筆に使うにはインク自体が固すぎて、ペン先まで下りてこなかった。そこで科学者であった弟と共同で、新しいタイプのペンをつくろうと考えた。ラーズローの頭の中には、ペン先の中に回転するボールを取り付け、回転と共にインクが出るようにするという画期的なアイデアがあった。しかし、ペン先用のとても小さいボールには、高精度な加工・固定技術が必要であった。また、粘度の高い（しかし高すぎない）インクの開発には苦勞した。ラーズローは1931年、ブダペストの国際博覧会において初めてその完成品を出品することができた。

私生活では1931年に9歳年下のエルジェーベトと結婚し、娘、マリアナ (Mariana) をもうけた。ボールペンの改良を進めたラーズローは、1938年にブダペストでボールペンの特許を取得しようと試みるが、時は1938年、ハンガリーで「第一次反ユダヤ法」が制定された年であった。ユダヤ人に対する締め付けが厳しくなってきたラーズローは妻、娘そして、弟のゲーザとともにハンガリーを離れることを決意しパリに移った。そして同年、ラーズローはパリでボールペンの特許を取得した。

第二次世界大戦が勃発すると、パリもユダヤ人にとっては安全な地ではなくなった。1943年、ヨーロッパからアルゼンチンに渡る機会を得て、亡命した。アルゼンチンに渡ったラースローはさらにボールペンの開発を進め、アルゼンチンでも特許を取った。「Biro Pens of Argentina」という会社を設立し、「birome」という商品名でボールペンを売り出した。また、その後すぐにイギリスがボールペンの使用権を取得し、イギリス空軍向けのボールペン生産に乗りだした。ボールペンは高度の高いところでは万年筆よりも書きやすかったのである。



フランスの文具メーカー、ビック社（Bic）がボールペンの特許を2万ドル（現在の価値で約23万ドル）でラースローから買い取った。その後、世界中の会社がボールペンの生産に乗り出し、ボールペンは1960年代には世界中に広まっていった。ボールペンのことを「ビーロー（Biro）」と呼ぶ言語もある。

ボールペンの発明という功績が大きく、彼の人生における他の部分は見落としがちであるが、彼はその生涯をほとんど発明にささげ、数々の実用品を世に送り出した。彼が取得した特許の数は300にもなる。その一部を紹介すると、スチーム洗濯機、電磁伝送装置（リニアモーター）、フェノール樹脂の製造方法、脱臭剤、印刷ミラーなどである。

ビーロー・ラースローは1985年10月24日、アルゼンチンの自宅で息を引き取った。ビーロー・ラースローの功績を称え、彼の誕生日である9月29日はアルゼンチンでは「発明の日」と定められている。また、Googleはビーロー・ラースローの生誕117年目の年である2016年9月29日、Google Doodle（Google検索ページのロゴ）を彼にちなんだものにした。

日本人学校教員募集

ブダペスト日本人学校では、2020年度（2020年4月～2021年3月まで）の1年間、日本語による教科指導をおこなっていただける教員を下記のように募集いたします。

なお詳細につきましては、本校ホームページのNEWSのページ
（<http://www.bpjpschool.hu>）をご覧ください。

1. 募集教員 小・中学部教員 1名
2. 応募について
 - ① 日本の小学校または中学校教員の免許状を所持している方
 - ② ハンガリーで就労可能な滞在許可を所持している方
 - ③ 応募締め切り 2020年1月24日（金）
 - ④ 問い合わせ先 TEL: 1-392-0360 Email: sakai@bpjpschool.hu
担当者 坂井

出版記念会

盛田常夫著『体制転換の政治経済社会学－中・東欧30年の歴史の変動を解明する』
日本評論社、2020年3月刊行

2020年3月19日に、上記書籍の出版記念会を開催します。出席ご希望の方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。当日、会場費（ソフトドリンク）として2000円を申し受けます。参加された方に、書籍を1冊贈呈いたします。

出席申し込み：yamazaki@rare-contents.co.jp（山崎正博）

会場：東京市ヶ谷アルカディア（私学会館）市ヶ谷駅より徒歩3分
18:30 開会・ミニコンサート
19:00 コーヒーブレイク
19:15－20:00 講演「中・東欧体制転換30年を総括する」
閉会

なお、本書の目次・まえがき・あとがきは、以下のサイトで読むことができます。

<http://www.morita-from-hungary.com/>

会議室の収用能力が限られていますので、先着順にて閉め切らせていただきます。

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE

ハンガリー・ヴィッラーニ地方の赤ブドウ加工品

GEREワイナリー製品

無添加自然加工(自然の恵みもの)

ポリフェノミクロン(商標登録申請中)



100% SZŐLŐMAG OLAJ

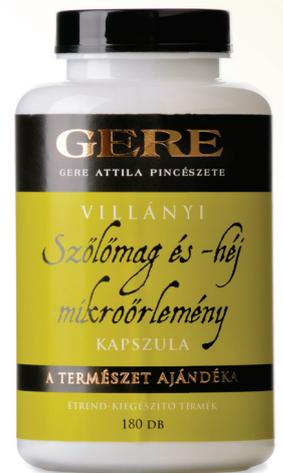
シードオイル(箱付き、250ml)

ポリフェノールと不飽和脂肪酸を含んだ赤ブドウの極上低温圧搾シードオイル

成分構成: 不飽和脂肪酸 min. 80%, ポリフェノール min. 6%

使用法: サラダなどの冷たい食べ物に直接かけたり、パンへ直接かけて、ほのかな香りを楽しみ、食欲を増進。

1日の摂取量: 小さじ1杯(およそ5g)を毎朝、可能な限り、空腹時に摂取するのが望ましい。



**SZŐLŐMAG & HÉJ
MIKROŐRLEMÉNY**
種子と果皮のマイクロ粉末
(ポリフェノミクロン)
(カプセル180個)



KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

種子と果皮のマイクロ粉末
(缶入り徳用缶、150g)

ポリフェノールをふんだんに含む有機栽培赤ブドウの種子と果皮を粉碎したマイクロ粉末

ポリフェノール成分: 5gの粉末はおよそ250mgのポリフェノールを含む。

使用法: 粉末をそのまま食することは避け、ヨーグルトなどに混ぜて食する。

1日の摂取量: 1日に小さじ1杯の粉末を2回に分けて摂取。

100% SZŐLŐMAG OLAJ/ KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

シードオイル&ポリフェノミクロンセット
(化粧箱入り)

以下のサイトから購入できます。

<https://www.gere-club-japan.com>

GERE Grand vin 特選セット



GERE Grand Vin セット

GERE Grand vin Koparセット



GERE Grand vin Solusセット



GERE Grand vin Attilaセット



ハンガリー在住の方の商品価格と配送について

- (1) 日本に輸入する場合と異なり、ハンガリー在住の方の商品購入量に制限はありません。
- (2) 購入総額が200ユーロを超える場合には、ハンガリー国内での配送料は無料となります。それ以下の場合には、配送料がかかり、お住まいの都市や町によって、配送料は異なります。
- (3) 配送先には、ご自宅あるいはお勤め先を指定することができます。ただし、自宅を留守にすることが多い場合、あるいは町中で配送車の駐車が難しい場合、注文された品物はTateyama R&D Europe Kft. (1125 Budapest, Zsolna utca 35/A) を保管ポストとして利用し、ご都合に応じて、Tateyama事務所での引き取りが可能です（平日9時から17時まで）。在宅が不確実な場合、保管ポストのご利用をお勧めします。

2019年11月1日からの販売商品の価格は以下の通りです。この価格は付加価値税込みの価格です。

ハンガリーでの商品購入価格

| 商品名 | 商品価格 |
|---------------------------|--------|
| 1 Light wine set | 取扱い停止 |
| 2 Gere selection | 取扱い停止 |
| 3 Medium body set | 取扱い停止 |
| 4 Cabernet set | 取扱い停止 |
| 5 Premium set | 取扱い停止 |
| 6 Grand vin selection | 340ユーロ |
| 7 Grand vin Kopar set | 165ユーロ |
| 8 Grand vin Solus set | 270ユーロ |
| 9 Grand vin Attila set | 600ユーロ |
| 10 Grape oil 10 bottles | 105ユーロ |
| 11 Grape powder 10 boxes | 115ユーロ |
| 12 Grape capsule 10 boxes | 190ユーロ |
| 13 Oil-powder set 4 boxes | 95ユーロ |

なお、販売価格は為替レートの変動に応じて、変更されます。この価格は2020年12月31日まで有効です。

<http://www.gere-club-japan.com>

日本で購入される場合の商品価格、配送方法、配送料

本カタログ1頁目に記されているように、日本で国外製品を個人輸入する場合にはさまざまな制限がありますが、少量の個人輸入は個人のみならず、自己の営業場で販売消費する場合についても容認されています。

本通販では商品セットを複数注文することは可能ですが、**配送は商品セット毎の配送**となり、まとめて梱包して配送することはできません。この点、ご了承ください。

2017年10月1日現在の商品価格は以下の通りです。

日本で購入される場合の商品価格および国際宅急便代金

| 商品名 | 商品価格 | 国際宅急便代 |
|---------------------------|--------|--------|
| 1 Light wine set | 取扱い停止 | 90ユーロ |
| 2 Gere selection | 取扱い停止 | 90ユーロ |
| 3 Medium body set | 取扱い停止 | 90ユーロ |
| 4 Cabernet set | 取扱い停止 | 90ユーロ |
| 5 Premium set | 取扱い停止 | 90ユーロ |
| 6 Grand vin selection | 255ユーロ | 90ユーロ |
| 7 Grand vin Kopar set | 130ユーロ | 90ユーロ |
| 8 Grand vin Solus set | 210ユーロ | 90ユーロ |
| 9 Grand vin Attila set | 480ユーロ | 90ユーロ |
| | | |
| 10 Grape oil 10 bottles | 85ユーロ | 67ユーロ |
| 11 Grape powder 10 boxes | 90ユーロ | 67ユーロ |
| 12 Grape capsule 10 boxes | 150ユーロ | 67ユーロ |
| 13 Oil-powder set 4 boxes | 75ユーロ | 67ユーロ |

なお、販売価格は為替レートの変動に応じて、変更されます。この価格は2020年12月31日まで有効です。



コルナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

池田信夫「21世紀最初の10年ベスト経済書」第2位にランク
「週刊ダイヤモンド」2006年ベスト経済書第9位にランクイン

コルナイ・ヤーノシュ自伝

— 思索する力を得てコルナイ・ヤーノシュ【著】 盛田常夫【訳】

◆好評発売中！ ◆定価 4935 円（税込） ◆A 5 判 / ISBN 4-535-55473-0 日本評論社



体制転換 の経済学

黄色の教科書シリーズで知られる専門学部の定番テキスト。体制転換の理論と転換直後の現状を分析。各大学で教科書として使用。

盛田常夫著

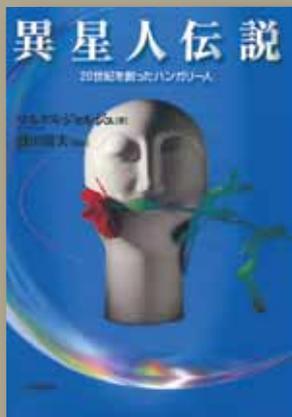
第一部 社会主義経済の失敗

社会主義崩壊をもたらした社会的退化への論理を構築。交換経済と再分配経済の比較分析に新たな視点を提供。

第二部 ポスト社会主義経済

体制転換の過渡期の問題をすべて取り上げ、解決の道筋を示す。地域による体制転換の違いを解明。

■ 新世社 新経済学ライブラリー20 定価2781円(税込)



なぜハンガリーは独創的な科学者を輩出したのか

20 世紀を創ったハンガリー人 マルクス・ジョルジュ【著】 盛田常夫【編訳】

■ 定価 3045 円（税込） A 5 判

■ ISBN 4-535-78331-4

異星人伝説

「週刊文春」(米原万里)、「週刊ダイヤモンド」(北村伸行一橋大学教授)で書評。

ハンガリーは 20 世紀の科学の発展に貢献した多くの頭脳を輩出した。大きな足跡を残した科学者たちの評伝。

体制転換20年の歴史的・理論的総括の書

ポスト社会主義の政治経済学

体制転換20年のハンガリー：旧体制の変化と継続

新しい概念を駆使して、体制転換以後の中欧社会の状況を分析。

日本経済新聞(2010年3月21日)ほか、多数の書評。

旧来の定説を覆し、新たな知見を広める革新の書。

盛田 常夫著

日本評論社

定価3800円

